

いたちかわらばん

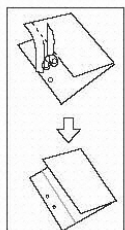
通刊 86 号 颯川・狹川 / 川原番・瓦版 '21 春号



【ペン画 宗森英夫】

「下流から見たオオイタチ橋」

この部分を
切り取って
ファイルにす
ると便利です



日本人と川
日本で古くから伝わる代表的な昔話に「桃太郎」がありますが、その話の冒頭「おじいさんは、山へ芝刈りに、おばあさんは、川へ洗濯に……」が始まります。
江戸時代に井戸が普及するまでは近くの小川で洗濯するのが一般的でしたが、これは日本だけでなく外国でも川で洗濯するのが当たり前だったようです。雨季に長雨が続き、川水は汚れ、増水して何日も洗濯出来ませんでした。
井戸は各戸にあった訳でなく、集落に一つあるくらいでした。そこで、女性たちは井戸端に集まり洗濯しながら、世間話や噂話をしていました。そこから「井戸端会議」と言う言葉が生まれたようです。又その時に使われた洗濯板から栄養失調などで痩せている胸を洗濯板と称していたようです。
現在では、水道や電気洗濯機が普及して、手も洗い等することが無くなりました。現在の子供たちは川をどの様に考えているのでしょうか？
川で釣りをするより「釣り堀」の方が馴染んでいるのではないのでしょうか？
現代の子は、プールや海水浴場で泳いだことがあっても、川で泳いだことがある子どもは少ないようです。「流れるプール」等で自然の川に近づけようという試みもありますが、本物の自然の川にはかないません。
自然と親しむ機会が少なくなった現在、林間学校のような自然の中の生活体験や夏休みを利用して、川の水の利用、ランプ生活を体験するキャンプ生活は貴重なものだと思います。
「いたち川」にも昔は洗い場として使用した（洗濯、野菜、農具など）跡が残っています。主に稲作のための用水として利用されていたようです。今の「いたち川」は安全に川あそびが出来る場所がたくさんあります。身近なところで自然と触れ合える川の大切さを知ってみましょう。
(いもり)

読者からのたより

昔から暴れ川と呼ばれた「いたち川」

親柱のことは、全く知らず勉強になりました。今度、栄図書館へ行った帰りにでも見てみたいと思います。

「いたち川」は、昔から暴れ川と呼ばれていたようで、ふるさとの川事業でも選定されて改修や治水などが行われ、流れも大きく変わってきたようで、その経緯など歴史的な解説をしていただけると良いですね。

(T.W さん)

「いたち川」川名の由来

「いたち川」川名の由来の中で、その前段部分で相模の国から武蔵野国へ出立ちの儀式をした「出立川」にその語源があるというのが、私も以前から信じて疑いませんでした。

同様に海里橋の語源も理解できました。今後とも「いたち川」に関する話、よろしくお願いします。

(M.N さん)

横浜の秘境「いたち川」

楽しみにしておりました「いたちかわらばん 85 号」、ありがとうございました。櫻井小学校で勤務していたころのワクワクした体験を思い出します。横浜の秘境に、人と自然再生の原点があることを、もっと伝えたい……という気持ちになりました。

コロナ禍で、人と人とのつながりがどんなに大事か、しみじみと感じているところです。

皆さまのご健康と、素晴らしいご活躍をお祈りしています。

(いたち川恋人🐱さん)

自然豊かな環境の「いたち川」

いたちかわらばんを長く発行され、その時代の変化や生活の様子がわかり、現在も活動続けて啓蒙していく OTASUKE 隊の活動に愛読者として楽しみに拝読しています。何時になったら終息するのかわからないコロナ禍ですが、自粛ばかりで運動不足から身体にも精神的にも良くないですが、身近に自然豊かな環境の「いたち川」に恵まれていますので散歩をして、感染症には気を付けてご活躍下さい。

(M.K さん)

《お礼》

皆様からの「おたより」に励まされて、「かわらばん」の発行を続けてまいりました。

今後とも「いたち川」の情報等を提供してまいりますので感想、ご指摘などお気づきな点がありましたらご一報をお待ちしております。

新隊員紹介

昨年 7 月から OTASUKE 隊のメンバーになりました。志望動機は、いたち川散策中に生き物と植物達にハートを打ち抜かれたことです。そして OTASUKE 隊は、どんな人でもいたち川が好きならバリアフリーなのです。これからも隊員の皆様といたち川の歴史、素晴らしさ、生物、植物を発信してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。
(こぶた🐷)

☆いたち川水源ウォーキング☆

いたち川左支川の洗井沢川源流部にある野草の散策に行きませんか、この谷戸の植生は市内でも珍しい絶滅危惧種の宝庫です。タコノアシ、ニリンソウ、黄色のオドリコソウ、シラユキゲシ…を鑑賞できます。

日 時：令和 3 年 4 月 8 日（木）

集合場所：天神橋バス停

天神橋バス停（神奈中上之行 船 11）→桂台中央バス停（徒歩）→極楽広場→洗井沢川源流部散策→荒井沢溜池跡→皆城山山頂（昼食）→荒井沢市民の森散策→桂山公園バス停（解散）

＊雨天中止。中止の場合は、前日ご連絡します。

集合時間：10：00

参 加 費：100 円（保険料等）

持 ち 物：飲み物、雨具、昼食 マスク着用

参加人数：20 名（先着順）

参加要領：参加希望者は、葉書、メール、FAX で

住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、令和 3 年 3 月 31 日（水）までに下記に応募して下さい。（当日消印有効）

応 募 先：〒247 - 0005 栄区桂町 303 - 19

（電話）894 - 8161 (FAX) 894 - 9127

（アドレス）sa-kikaku@city.yokohama.jp

栄区役所区政推進課企画調整係 担当 佐藤

※内容については、和久井（045 - 892 - 6767）まで

発行：狹川 OTASUKE 隊 (いたちがわおたすけたい)

OTASUKE 隊事務局：栄区役所区政推進課企画調整係

栄土木事務所下水道・公園係

〒247-0005 横浜市栄区桂町 303-19
TEL 045-894-8161 FAX 045-894-9127

〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-6-1
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421

（お便り・お問い合わせは こちらまで）

発行年月

2021 年 2 月

通刊 86 号

初版「いたち川情報マップ」の紹介 第13弾!!

平成8年（今から24年前）に初版

「いたち川情報マップ」発行！

いたちかわらばん71号から順次紹介しています。



〇いたち川情報マップ（いたち川左支流 洗井沢川）

いたち川の支川には、「右支川」としては、瀬上池を水源とした栄区役所裏で合流する瀬上沢川、小菅ヶ谷北公園を源流として新橋で合流する赤坂川があります。「左支川」としては、天神橋で合流する洗井沢川で今回は、荒井沢市民の森を水源とする洗井沢川周辺を紹介いたします。

◇洗井沢川小川アメニティ

横浜市の栄区南部に位置する公田町の一角、鎌倉市との市境にある市街化調整区域の荒井沢緑地を源流として、昔は3段に分かれる農業用ため池を源流とした小川です。

地形的には、三浦半島に続く山地性丘陵地であり、丘陵地を水源に入り込んだ狭い谷戸の中を流れる2本の水路から成っている。この小川アメニティは平成7年に住宅地域上流約600mが整備されました。

計画に際しては、市民の森を含め里山の環境保全を考慮に入れて次のことを付近の住民と意見交流を行い計画されました。

- ・里山環境の再生
- ・地域コミュニティの形成
- ・農業体験、自然教育の場づくり
- ・情報の発信拠点

以上のことから、水系保全エリア、樹林地エリア、農地エリア、センターエリアに区分して整備が行われました。

小川アメニティは水路の観察、親水ゾーン、水源の涵養ゾーンとして整備されました。整備にあたっては動植物を事前に捕獲、移植などを行い整備後に復元を行っています。

◇公田地区の歴史

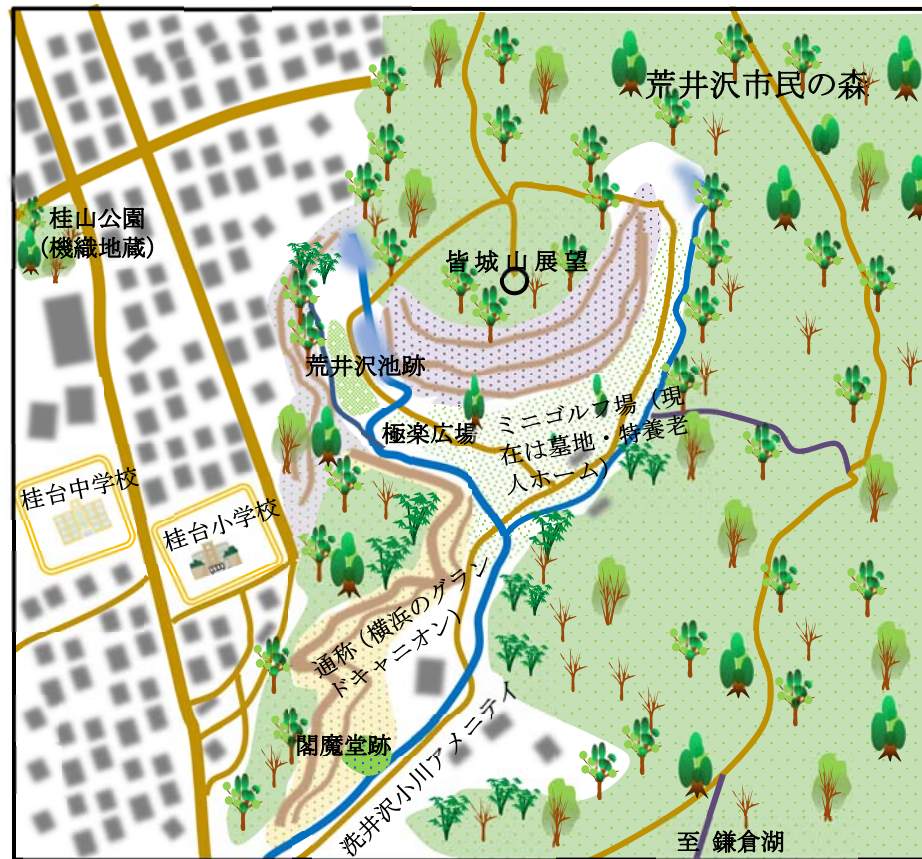
公田（くでん）とは公田（こうでん）と言う大和時代の班田法で、位田・職田・口分田などとして与えられた残りの田のことで、正方形の耕地を縦横三列ずつに9等分した。その中央部の田を公の田として、周辺の私田を耕す者が共同して公田を耕し、その収穫を租税としました。

◇横浜のグランドキャニオン

洗井沢川の源流部の谷戸は1965年ころ東名高速道路の建設に伴って良質の山砂が出たことから山が削られて、周辺一帯に絶壁が出現し、その情景から「グランドキャニオン」と呼ばれるようになりました。

◇皆城山展望台

皆城山の頂上に設けられた展望台でハイキングコースの休憩所になっています。鎌倉時代の名前の無いお城跡であることから「みなしろ」と言われています。



◇極楽広場

昔はこの谷戸は地獄谷と呼ばれ村民に恐れられ近寄らなつたと言われていましたが市民の森を作るときに、正反対の意味合いの極楽広場と名付け、トイレ休憩の場所、地区内外のインフォメーションの役割をしています。



◇機織地蔵

地蔵なのだが、持ち物が刀杼（とうひ）、古くから機織（はたおり）地蔵と呼ばれています。貞享3年（1686）「刀杼」は、地機織りで使う道具で、杼と箴（おさ）を一緒にしたようなもの。「糸玉」は欠損していて、なんだか分からなくなっている。

◇閻魔堂跡

現在は墓地となっている。その一面に「三界万霊有無縁等元禄九 歴丙子2月28日施主念仏講」の碑、その他に2基文化文政の頃のものがあり、尼さんが住んでいたようです。

◇野ウサギ

市民の森を計画した段階で森の中にある糞を調査した結果野兎がいることが判明しましたが、見た人はいませんでした。2～3年前に真っ黒の子ウサギが畑の周りで目撃されていますが昔からいるウサギであるか定かではありません。

◇野草の宝庫

荒井沢の谷戸には、春には「イワボタン、ヨゴレネコノメソウ、オドリコソウ、シラユキゲシ、タツナミソウ、スマレ、コリンソウ」など、夏には「ヤマユリやジャケツイバラの群落、タコノアシ、オトギリソウ」など、四季を通して楽しめます。

編集後記

マップの紹介を13回にわたって行ってきましたが、今回をもって終了といたします。次回からは「いたち川」の水源となっている市民の森、公園や環境河川として施工されている工法などを連載いたします。（水・人・子）

*本郷台小総合学習報告 「いたち川、さらに理解し追究しています」

枯れ葉舞う季節となり、冬の気配を感じるころとなりました。子どもたちは、コロナ禍の中でも運動会に一生懸命取り組み、次のがやきステージに向けて、自分が知った「いたち川」のすばらしさを伝えたい」という思いで、廊下に水族館を作ったり、発表に向けての準備をしたりしています。先週いたち川OTSCチームの方から、いたち川の歴史を話していただきました。私も知らないことばかりで、感動しましたが、子どもたちの感想がとてもよかったです。お伝えいたします。

（本郷台小学校教諭 紀谷香子）

子どもたちの感想の一部です。
〇ぼくは、教えてもらったことで、知らないことがたくさんありました。1つ目は、石の場所がせつけいされていて、工夫されているということを知りました。一つ一つた置いてあると思っていたので、びっくりしました。二つ目は川の場所に名称があるということです。様々な名前があつて意味があることを知りました。いろいろな人のささえてできている川だとあらためて実感しました。

（M・Kさん）

〇一番心に残ったことは、栄区だけの花があることと、夜中だけさく花があることです。このことは一生覚えていたいと思います。また、いたち川のおそうじやさんは生き物ということです。生き物はすくいいいことをしてくれていると思います。世界中の人たちに生き物はすごく大切だということを伝えたいです。（H・Mさん）



〇韓国のソウルの川の形は、いたち川をモデルにしているという話におどろきました。調べてみると「チョンゲチョン」という川じゃないかと思いました。海外の川のモデルになっていることを知って、すごい川なんだなと思いました。（Y・Mさん）

〇私は鳥グループですが、いたち川の昔のことを聞けてよかったです。私がおどろいたのは、いたち川は30年前、今よりもきたなかったということです。ボランティアの方がいたち川をきれいにしてくれたおかげで、いたち川の魚を観察したり虫をとったりできることがわかりました。今度ごみをひろいたいなと思いました。私たちがきれいにしていきたいです。（H・Yさん）

〇ぼくが話で分かったことは、河川の意味です。いたち川を調べると「2級河川」と書いてあるので「なんだろう？」と思っていましたが、市の中で終わる川で市が整備しているということがわかりました。ほかにいろいろな工夫がされていることを知りました。（T・Rさん）

（四年一組学級通信から）